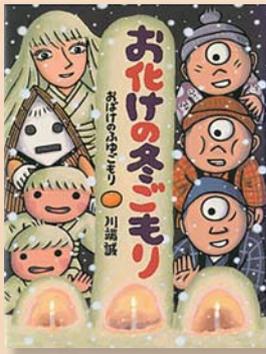


私のいちおし本 「お化けの冬ごもり」

作者：川端 誠

選者：波野小学校 岩下 勝也



『「えらく雪がつもったねえ」一つ目の青坊主が、火鉢で餅をやいています。「あいつらがあそびにくるときは、いつも大雪だ。うー、さぶう」三つ目の大入道は、こたつでまるくなっています。』という冒頭シーンから始まり、一つ目小僧たちが庭でソリスベリを楽しむなど、雪国でよくある風景が続きます。そこに、雪女や雪ん坊、雪童子がやってきます。みんなで雪合戦やかまくら作りをするなど、こまった大雪をさらっと楽しい遊びに変えています。

私のお薦めのシーンは、かまくらをライトアップしたシーンで、「とてもきれい」とつぶやいてしまうほど、幻想的な世界です。冬を楽しむことができるお薦めの一冊です。

今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

【一般】

心に、光を。不確実な時代を生き抜く

ミシェル・オバマ 著

どんな世界に暮らしたい？誰を信頼する？子どもはどうやって大人になる？人生の大きな問題に、わかりやすい解決策なんてない。不安の多い世界との向き合い方を、元米国ファーストレディが語る。



【文化センター図書室】

【一般】

やわらかい頭の作り方

細谷 功文 / ヨシタケシンスケ 絵

誰にも「考え方の癖」があり、自由な発想が妨げられている。自分の「常識」や「価値観」や「見方」が絶対でないことを知り、創造的思考を広げるヒントを紹介。ヨシタケシンスケのイラストも満載。



【児童】

おまえうまそうだな さよならウマソウ

宮西 達也 作・絵

たおれたティラノサウルスを、アンキロサウルスが助けてくれました。じつはそのアンキロサウルスはなんと…。「おまえうまそうだな」の20年後のふたりを描く、せつない再会の物語。



【児童】

からだおたすけ食べ物事典

こんなときなに食べる？

牧野 直子 監修

「足が速くなりたい」「集中力をつけたい」「かぜを治したい」…。目的に合わせて、からだに必要な栄養素とその栄養素がふくまれた食べ物、その食べ物をおいしく食べられる料理を紹介する。



その他の新刊

【一般】星を編む

凧良 ゆう 著

栄光のバックホーム 横山慎太郎、永遠の背番号24

中井 由梨子 著

【児童】ゆめぎんこう おまつりへいく

コンドウアキ 作

続 窓ぎわのトットちゃん

黒柳 徹子 著

その他の新刊

【一般】日本人のしきたり

飯倉 晴武 著

デウスの城

伊東 潤 著

【児童】おばけのアッチ ドラキュラのママのあじ

角野 栄子 作

用具室の日曜日 へたな手品師はすぐおこる

村上 しい子 作